

復活おみくじ

みなさんは、おみくじを引きますか？

立石寺には、ご本尊さまはじめ、古くて貴重なものが数多くありますが、このおみくじ箱は、二百二十年ほど前、寛政三年のもの。

おみくじの最大の利点は、自分の意志が直接反映しないことです。悩んでいるときには、これがとても役に立つ。

迷い悩みとは、自分の意志で決められない、ということです。

今日は天ぷらそばを食べよう、

と強い意志で決めていれば迷わないけれど、決められないと、何を食べようか迷ってしまいます。おおげさに言えば、この迷い悩みが苦しみの源です。

そもそも、決められないようなことは、どちらでも良いことです。どちらかでないことは困ることなら、自然に決まるはず。

どうしようか分からない時、おみくじを引いて、吉なら進み、凶なら立ち止まる、そのように利用すれば便利です。

だから、決められないことは、おみくじにまかせるのも、ひとつの方法です。

おみくじで吉を引けば気分が良いでしょう。

問題は凶を引いたときで、厄払いになったと思うか、他人の凶を引き受けたと考えるか、人生凶が当たり前と気を引き締めるか、いろいろあります。

私なら、無かったこととして忘れま。



こちらは、鉄製のおみくじ筒。「明治三十七年戦」「征露紀念」「砲兵志等卒」などの文字が見えます。



苦しいこと、つらいことはありますが、いつもそれに振り回されているのではなく、何とかする方法はいくつもあります。おみくじはそれを教えてくれるかもしれません。

ところで、「大吉」や「凶」を引くのは、偶然でしょうか。

それとも何か原因があるのでしょうか。

そういう事に私は興味を持ちますが、

いづれにしても、おみくじを引くことは楽しいものです。

どうぞ、機会がありましたら、おみくじを引いてみてください。

そして、難を無難に、吉を大吉にするように、明るく仲良く暮らしましょう。

編集後記

今年が亥歳。持仏堂の阿弥陀さまとご縁があります。どうぞおまいりください。

本年も良い年でありますよう、祈念しております。